

NEC

WebOTX Application Server Express V10.2  
Processor License Unlimited Option  
UL1519-P8T

インストールガイド

## ごあいさつ

このたびは、WebOTX Application Server Express Processor License Unlimited Option をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、お買い上げいただいたセットの内容の確認、インストールの内容を中心に構成されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読み下さい。

WebOTX Application Server Express Processor License Unlimited Option は、WebOTX Application Server Express の諸元制限を解除するオプション製品です。

以下からの説明では、WebOTX Application Server を「WebOTX AS」と省略して表現します。

WebOTX は日本電気株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。

UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

Intel は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標もしくは商標です。

Red Hat は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の商標または登録商標です。

HP は、米国 Hewlett Packard Enterprise 社の商標または登録商標です。

Docker and Docker logo are trademarks or registered trademarks of Docker, Inc. in the United States and/or other countries. Docker, Inc. and other parties may also have trademark rights in other terms used herein.

その他記載されている会社名、製品名には各社の商標のものもあります。

# 目次

1. はじめに	1
ライセンスについて	1
諸元制限の解除	1
2. 動作環境	2
3. ライセンス登録方法	3
ライセンス登録 (Windows)	4
ライセンス登録 (Linux)	5
ライセンス登録 (WebOTXAS Express for Container)	6
4. ライセンス削除方法	7
ライセンス削除 (Windows)	7
ライセンス削除 (Linux)	8
ライセンス削除 (WebOTXAS Express for Container)	9
5. 注意制限事項	10

---

# 1. はじめに

---

## ライセンスについて

本製品は、同一バージョンの WebOTX Application Server Express の諸元制限を解除するオプション製品です。ライセンス方式はプロセッサ・ライセンスであり、物理サーバ上の OS と仮想マシン上の OS、どちらを利用する形態においても、OS に割り当てられたコア数を対象とし、2 コアにつき 1 ライセンス必要になります。また、WebOTX Application Server Express と同一数が必要です。

Windows/Linux 共用の型番であり、Windows/Linux のどちらでも利用可能です。

※HP-UX は専用の型番であり、共用の対象外です。

---

## 構成品の確認

本製品にインストール用の DVD-ROM 媒体は含まれていません。製品全体の構成品に関しては構成品表を確認してください。

---

## 諸元制限の解除

本製品は、WebOTX Application Server Express の以下の諸元制限を解除します。

- 合計コア数

利用可能なマシンは、最大 2CPU ソケットかつ全 CPU のコア数合計最大 12 コアまでの制限があります。

仮想環境で利用し、マシンの H/W 構成が特定できない場合は、1 仮想マシンあたり最大 12 コアまでの制限となります。

1 ライセンスにつき 2 コアまで利用可能です。

物理マシンの場合は対象マシンに搭載されている全 CPU が対象となり、クアッドコア CPU とヘキサコア CPU は共に 2 個までとなります。

仮想マシンの場合、インストール対象の仮想マシンに割り当てるコア数の合計値は 12 個までとなります。

- 同時処理数

クライアントからのリクエストの同時処理数(処理スレッド数)は 100 本までの制限があります。この制限は、HTTP セッション数や、利用可能なクライアント数の上限ではありません。ある時点で同時にリクエスト処理を行う

上限です。

対象の設定値は、「アプリケーションサーバ・スレッドプール」のスレッドプール最大値 (max-thread-pool-size) です。

- セッションレプリケーションの共有台数

負荷分散構成で複数台のサーバでシステムを構成する場合、セッションレプリケーション機能によりセッション情報を共有できます。このセッションレプリケーションでセッション情報を共有は、4 台までの制限があります。対象の設定値は、「アプリケーションサーバ・Web コンテナ」の JNDI サーバの URL (session-replication-jndi-url) です。

(注) 一台に複数ドメインを作成した場合には、それぞれのドメインを 1 台のサーバとみなします。

---

## 2. 動作環境

---

WebOTX Application Server Express が事前にインストールかつライセンスが正しく登録されている必要があります。

※本製品のみで単独で利用することはできません

---

## 3. ライセンス登録方法

---

本製品の必要なライセンス数の数え方の関係について説明します。

インストール対象のマシンに搭載されているCPUのコア数の合計値をカウントして、合計値を2で割った数のライセンスを登録します。

※少数点以下の端数は切り上げです

物理マシンの場合は、対象マシンに搭載している全CPUのコア数の合計値が対象となります。

仮想マシンの場合、インストール対象の仮想マシンに割り当てるコア数の合計値が対象となります。

(例1) 対象マシンが物理マシンかつクアッドコア CPU を 2 個搭載

「4(コア) x 2(個) = 8 コア」 -> 登録するライセンス数  $8/2 = 4$  ライセンス

(例2) 対象マシンが物理マシンかつヘキサコア CPU を 2 個搭載

「6(コア) x 2(個) = 12 コア」 -> 登録するライセンス数  $12/2 = 6$  ライセンス

(例3) 対象マシンが仮想マシンかつ3コア割り当て

「3 コア」 -> 登録するライセンス数  $3/2 = 1.5$  →(切り上げ) 2 ライセンス

### Caution

登録されている WebOTX Application Server Express のライセンスに対して本製品のライセンス数が不足している場合、ドメイン起動時に以下のような WARNING メッセージが  $\{\text{INSTANCE\_ROOT}\}/\text{logs}/\text{agent.log}$  に出力されます。このメッセージが出力される場合、本製品のライセンスの追加登録を行ってください。

※INSTANCE\_ROOT はドメインのルートディレクトリです

OTX01130086: License violation is detected. The number of registered licenses is \* fewer than it is required. The system has \* processors, but \* license(s) is/are registered. Product Name: WebOTX Application Server Express Unlimited Option V\*.\*

OTX01130086: ライセンスに違反しています。ライセンス登録数が \* 足りません。CPU コア数 \* に対して登録数が \* です。製品名: WebOTX Application Server Express Unlimited Option V\*.\*

※"\*"には環境に応じた数字、もしくは製品のバージョンが出力されます。

- クラウド販売製品を利用する場合

クラウド販売製品を利用する場合、WebOTX Application Server Express と WebOTX Application Server Express Unlimited Option は同じ課金タイプ (定額課金/従量課金) を利用してください。また、課金タイプが従量課金の場合、WebOTX Application Server Express は Scale Up 用のライセン

スキーが提供されるため、WebOTX Application Server Express Unlimited Option のライセンスキーは1個登録することにより利用可能です。

※詳細はクラウド販売製品に添付される「リリースメモ (はじめにお読みください)」を参照してください。

---

## ライセンス登録(Windows)

Built-in-Administrator ユーザ、もしくは管理者権限のあるユーザでログインし、Windows のサービス画面から WebOTX 関連のサービスを全て停止した後、次の手順のとおりライセンスの登録作業を行ってください。

### 1. ライセンス登録

ライセンス登録は次のコマンドで行います。

※Built-in-Administrator ユーザ以外の管理者権限のあるユーザでログインした場合、コマンドプロンプトは「管理者として実行」で起動してください

```
>OTXLAdd
```

### 2. ライセンスキーの入力

"Please Input License Code" と表示されたら製品の「ライセンスキー」を入力します。

製品の「ライセンスキー」は製品購入時に添付される「ソフトウェア使用認定証」の「製品番号」に記載されている19桁の番号です。ライセンス登録作業が成功すれば、"Command Succeeded." と表示され OTXLAdd コマンドが終了します。

複数のライセンスを登録する場合は OTXLAdd コマンドを複数回実行してライセンス登録を行ってください。

### 3. ライセンス登録の確認

ライセンスの登録情報一覧は次のコマンドで確認することができます。

```
>OTXLchk
```

ライセンス登録を行ったのにライセンス情報が表示されない場合は、ライセンス登録作業が失敗している可能性があります。次の点に注意しながら再度ライセンス登録を行ってください。

- Built-in-Administrator ユーザ、もしくは管理者権限のあるユーザでログインしていること
- Built-in-Administrator ユーザ以外の管理者権限のあるユーザでログインした場合、コマンドプロンプトは「管理者として実行」で起動していること
- ライセンスキーを正しく入力していること

### 4. 誤ってライセンス登録した場合は次の方法でライセンスを削除することができます。

WebOTX のライセンス情報削除は、OTXLDel コマンドを使用します。

※ライセンスを複数登録している場合は一つだけ削除されます。

>OTXLDel 16

## ライセンス登録(Linux)

root でログインし、WebOTX 関連のサービスを全て停止した後、次の手順のとおりライセンスの登録作業を行ってください。

### 1. ライセンス登録

ライセンス登録は次のコマンドで行います。

```
/opt/share.nec/bin/OTXLAdd
```

#### Caution

WebOTX 製品のインストール・ベースディレクトリ(※)を/opt から変更している場合、本リリースメモの/opt/share.nec の記述を/opt/share.nec/v102 に読み替えてください。  
※UNIX 版のパッケージ(RPM/デポ)のインストール時に起点として使用するディレクトリ

### 2. ライセンスキーの入力

"Please Input License Code"と表示されたら製品の「ライセンスキー」を入力します。

製品の「ライセンスキー」は製品購入時に添付される「ソフトウェア使用認定証」の「製品番号」に記載されている 19 桁の番号です。

ライセンス登録作業が成功すれば"Command Succeeded."と表示され OTXLAdd コマンドが終了します。

複数のライセンスを登録する場合は OTXLAdd コマンドを複数回実行してライセンス登録を行ってください。

### 3. ライセンス登録の確認

ライセンスの登録情報一覧は次のコマンドで確認することができます。

```
/opt/share.nec/bin/OTXLChk
```

ライセンス登録を行ったのにライセンス情報が表示されない場合は、ライセンス登録作業が失敗しています。次の点に注意しながら再度ライセンス登録を行ってください。

- root ユーザでログインしていること
- ライセンスキーを正しく入力していること

### 4. 誤ってライセンス登録した場合は次の方法でライセンスを削除することができます。WebOTXのライセンス情報削除は、OTXLDel コマンドを使用します。

※ライセンスを複数登録している場合は一つだけ削除されます。



```
root> /opt/share.nec/bin/OTXLDel 16
```

---

## ライセンス登録(WebOTX AS Express for Container)

Docker コンテナ上で動作する WebOTX AS Express for Container の場合、コンテナイメージ作成時に、Dockerfile の「# bootstrap script」の前の行に、以下の 1 行を挿入してください。

[Windows の場合]

```
RUN C:¥WebOTX¥share¥bin¥OTXLAdd.exe <ライセンスキー>
```

[Linux の場合]

```
RUN /opt/share.nec/bin/OTXLAdd <ライセンスキー>
```

上記の<ライセンスキー>の箇所は、製品の「ライセンスキー」で置き換えてください。製品の「ライセンスキー」は製品購入時に添付される「ソフトウェア使用認定証」の「製品番号」に記載されている 19 桁の番号です。

Dockerfile に記載する「ライセンスキー」は 1 つで構いませんが、Docker コンテナを稼働させるホストマシンに必要な数の WebOTX Application Server Express Unlimited Option をご購入いただく必要があります。

---

## 4. ライセンス削除方法

---

WebOTX Application Server Express のアンインストールを実行すると本製品も同時にアンインストールされます。このため、通常は次に示す手順を行う必要はありません。

マシンに割り当てる CPU コア数を減らし WebOTX Application Server Express と WebOTX Application Server Express Unlimited Option のライセンス数を変更したい場合には、次に示す手順により登録済みライセンスの数を減らすことができます。

---

### ライセンス削除(Windows)

Built-in-Administrator ユーザ、もしくは管理者権限のあるユーザでログインし、Windows のサービス画面から WebOTX 関連のサービスを全て停止した後、次の手順のとおりライセンスの削除作業を行ってください。

1. ライセンス情報の確認

WebOTX のライセンスの登録情報一覧は次のコマンドで確認することができます。

```
>OTXLChk
```

2. ライセンス削除

WebOTX のライセンス情報削除は、OTXLDel コマンドを使用します。WebOTX Application Server Express と WebOTX Application Server Express Unlimited Option のライセンスを同じ数削除してください。

※ライセンスを複数登録している場合は一つだけ削除するため、必要数分繰り返してください。

[WebOTX Application Server Express]

```
>OTXLDel 2
```

[WebOTX Application Server Express Unlimited Option]

```
>OTXLDel 16
```

3. ライセンス削除の確認

次のコマンドでライセンスが削除されていることを確認してください。

```
>OTXLChk
```

ライセンス削除を行ったのにライセンス情報に反映されない場合は、ライセンス削除作業が失敗している可能性があります。次の点に注意しながら再度ライセンス削除を行ってください。

- Built-in-Administrator ユーザ、もしくは管理者権限のあるユーザでログインしていること
- Built-in-Administrator ユーザ以外の管理者権限のあるユーザでログインした場合、コマンドプロンプトは「管理者として実行」で起動していること
- OTXLDel コマンドで指定している製品コードが正しいこと

---

## ライセンス削除(Linux)

root でログインし、WebOTX 関連のサービスを全て停止した後、次の手順のとおりライセンスの削除作業を行ってください。

### 1. ライセンス情報の確認

WebOTX のライセンスの登録情報一覧は次のコマンドで確認することができます。

```
/opt/share.nec/bin/OTXLChk
```

#### Caution

WebOTX 製品のインストール・ベースディレクトリ(※)を/opt から変更している場合、本リリースメモの/opt/share.nec の記述を/opt/share.nec/v102 に読み替えてください。

※UNIX 版のパッケージ(RPM/デポ)のインストール時に起点として使用するディレクトリ

### 2. ライセンス削除

WebOTXのライセンス情報削除は、OTXLDelコマンドを使用します。WebOTX Application Server Express とWebOTX Application Server Express Unlimited Optionのライセンスを同じ数削除してください。

※ライセンスを複数登録している場合は一つだけ削除するため、必要数分繰り返してください。

```
[WebOTX Application Server Express]
```

```
root> /opt/share.nec/bin/OTXLDel 2
```

```
[WebOTX Application Server Express Unlimited Option]
```

```
root> /opt/share.nec/bin/OTXLDel 16
```

### 3. ライセンス削除の確認

次のコマンドでライセンスが削除されていることを確認してください。

```
/opt/share.nec/bin/OTXLchk
```

ライセンス削除を行ったのにライセンス情報に反映されない場合は、ライセンス削除作業が失敗している可能性があります。次の点に注意しながら再度ライセンス削除を行ってください。

- rootユーザでログインしていること
- OTXLDelコマンドで指定している製品コードが正しいこと

---

## ライセンス削除(WebOTX AS Express for Container)

Docker コンテナ上で動作する WebOTX AS Express for Container の場合、ライセンスが登録されたコンテナとイメージを削除してください。

また、**Dockerfile** からライセンス登録のために挿入した **OTXLAdd** を実行する **RUN** 命令の行を削除して、イメージを作り直してください。

---

## 5. 注意制限事項

---

注意制限事項に関してはマニュアルを参照して下さい。